

# フューチャースクール推進事業

教育分野のICT利活用を推進するため、学校現場にICT環境を構築し、主として情報通信技術面からの実証研究を行い、その成果をガイドライン(手引書)等としてとりまとめる。その成果については、普及展開を図る。

## これまでの成果と今後の取組予定

児童・生徒1人1台のタブレットPC等を配備し、無線LAN環境を構築し、それを活用した授業を実践して、ICT環境の運用ノウハウ・情報セキュリティ要件などの検証を行った上で、その成果を副大臣主催の研究会で検討してガイドラインに取りまとめる。

- これまでの成果
  - ・ **平成22年度(2010年度)**から小学校10校において実証研究を開始
  - ・ **平成23年度(2011年度)**からは、上記の小学校に加え、**中学校8校、特別支援学校2校**を対象校に追加し、文部科学省「学びのイノベーション事業」と同一校で実証研究を実施
- 今後の取組予定(行政事業レビューを踏まえたもの)
  - ・ **平成24年度(2012年度)**実証研究(小学校3年目、中学校・特別支援学校2年目)を引き続き文部科学省と連携して実施
  - ・ **平成25年度(2013年度)**実証研究(中学校・特別支援学校3年目)を実施し、最終取りまとめ

【平成22年度】  
ガイドライン2011  
の策定・公表

【平成23年度】  
ガイドライン2012  
の策定・公表

【平成24年度】  
ガイドライン2013  
の策定・公表

【平成25年度】  
ガイドライン2014  
の策定・公表

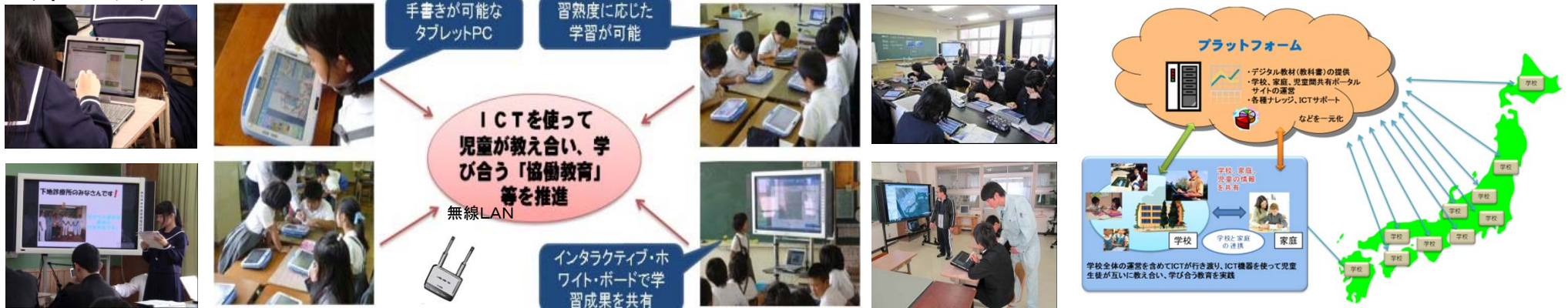
## 計画年数

- 4年計画  
(事業開始:平成22年度～終了:平成25年度)
- ・ 小学校(平成22年度～平成24年度)
  - ・ 中学校及び特別支援学校(平成23年度～平成25年度)

## 所用経費

平成25年度予定額	平成24年度予算額
一般会計 494百万円	1,100百万円

## <イメージ>



# 教育分野における最先端ICT利活用に関する調査研究

教育分野におけるICTの効果的な利活用を促進するため、これまでのフューチャースクール推進事業の成果として判明した情報通信技術面の課題を技術的に解決し、誰でも使いやすい最先端の協働教育システムのモデルを構築・検証することを目的として調査研究を実施し、学校が求めるICT環境の技術的条件を整理する。

## これまでの実証研究で判明した課題

### 基礎的要件部分

(情報端末の画面の大きさ、機能のあり方、ネットワークの基本構成、運用方策等)

フューチャースクール推進事業で対応

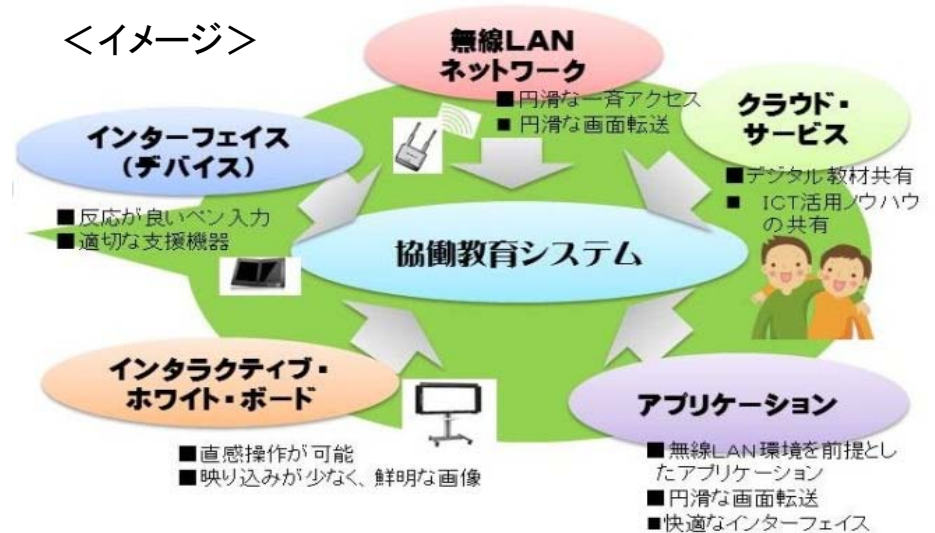
既存の環境の下での運用の工夫等では解決できず、技術的な解決が必要な部分

- ①リッチコンテンツの増加への無線LAN等の対応
- ②家庭学習との連携の本格展開に伴うセキュリティ確保
- ③普通教室における特別な教育的支援を必要とする児童生徒のための効果的な利活用方法 等

## 取組のポイント

これまでに判明した課題に対応し、最新の技術動向に応じた最先端の技術を踏まえて、デバイス、アプリケーション、無線LANネットワーク、クラウド・サービス、セキュリティを統合した、誰でも使いやすい、最適なシステム(協働教育システム)の構築・検証等を行う。

<イメージ>



## 所用経費

	平成25年度予定額	平成24年度予算額
一般会計	150百万円	0百万円